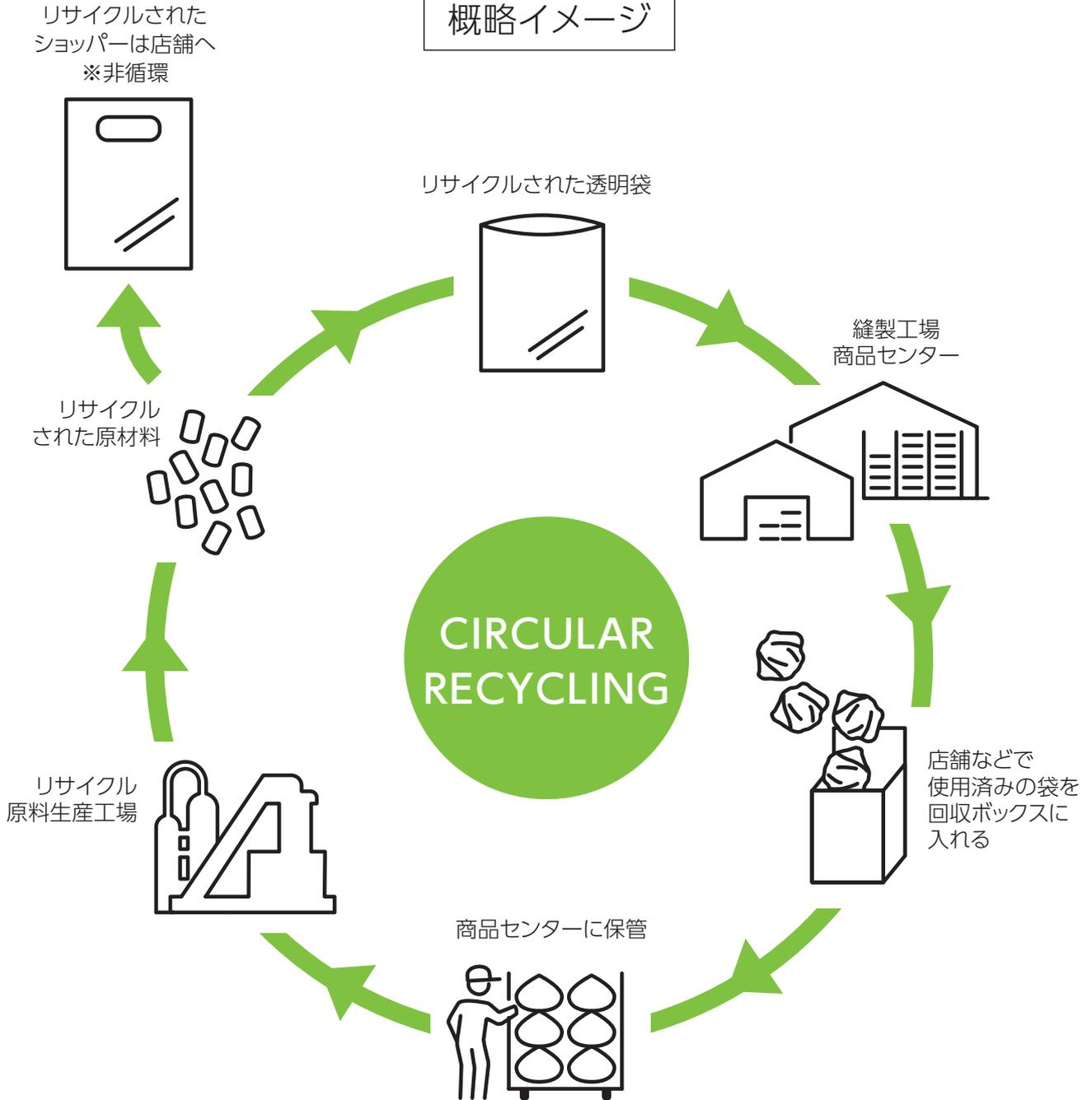


概略イメージ

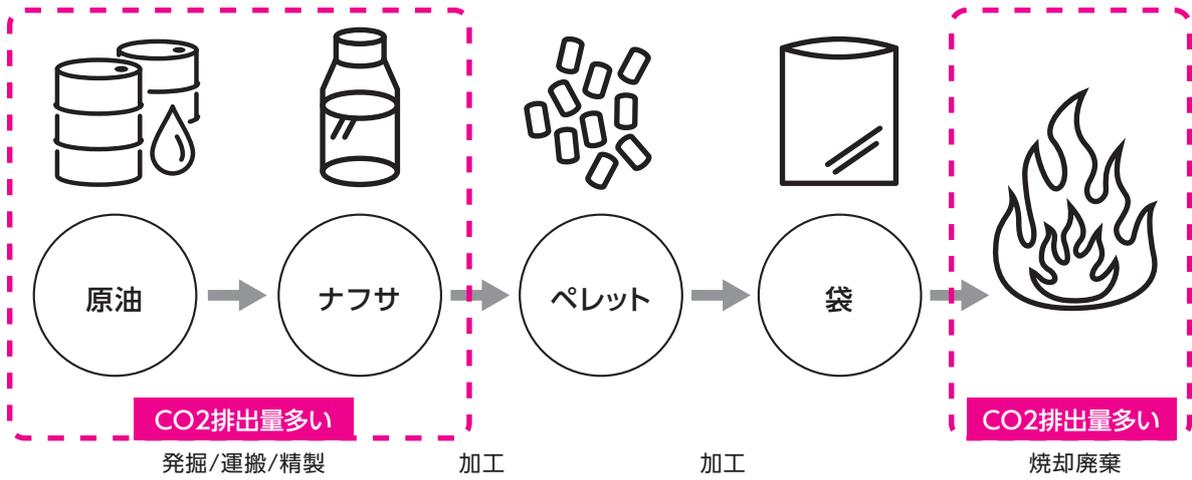


商品保護のためのポリエチレン透明袋を、  
使用後に回収・リサイクルして  
繰り返し透明袋として納品いたします。

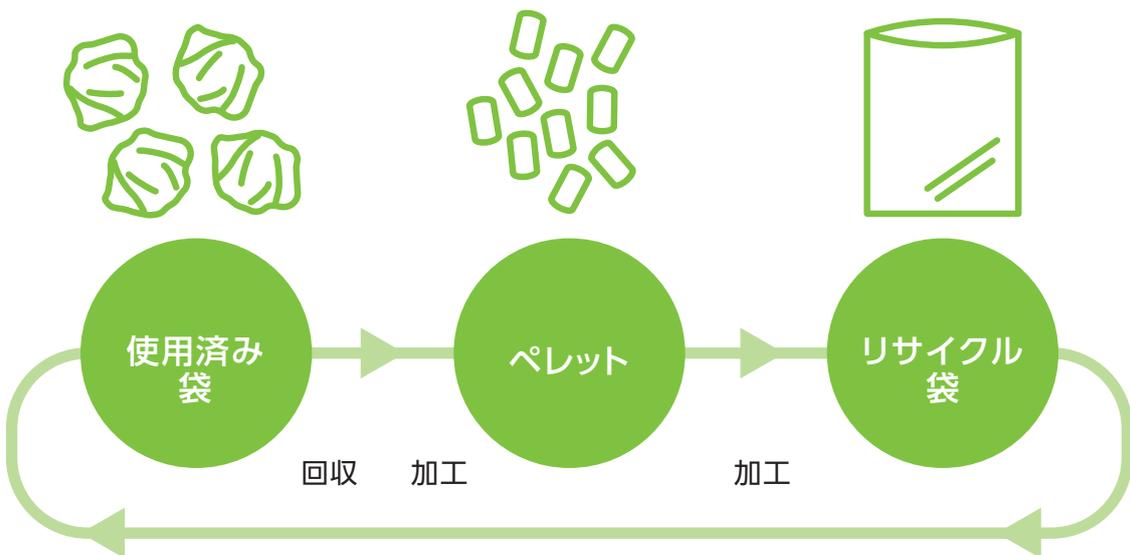
事前に打ち合わせをさせて頂き、お客様ごとの様々なシステムや事情をよく勘案したうえで、  
ご要望に合わせたの循環型リサイクルのフローをご提案いたします。

CO<sub>2</sub>削減効果

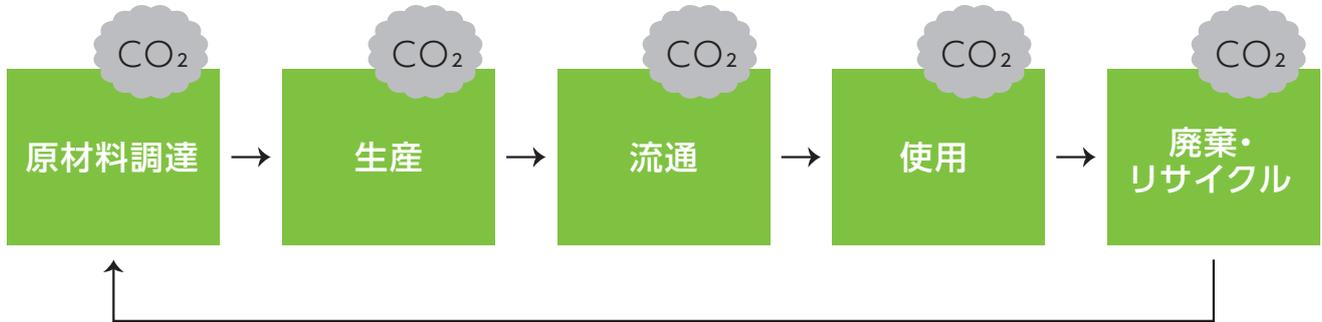
通常ポリエチレン袋のライフサイクル



循環型リサイクル ポリエチレン袋のライフサイクル



## カーボンフットプリント

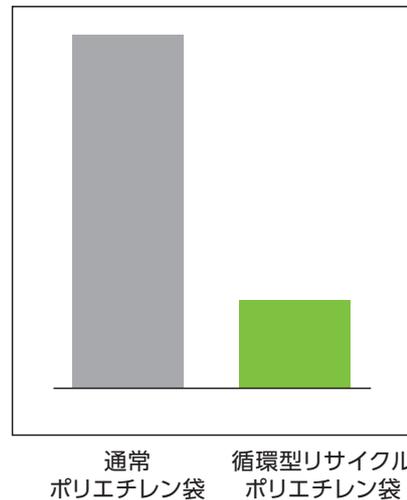


カーボンフットプリントとはCarbon Footprint(炭素の足跡)を意味します。商品やサービスのライフサイクル全般で排出された温室効果ガスをCO<sub>2</sub>量で表したものです。情報を「見える化」することで、削減効率の高い工程を把握してCO<sub>2</sub>排出量削減を推進するを目的とします。



循環型リサイクルポリエチレン袋は、CO<sub>2</sub>排出量の多い「発掘/運搬/精製」と「焼却廃棄」の工程がないことで、CO<sub>2</sub>排出削減に対して大変効果的です。

通常ポリエチレン袋と循環型リサイクルポリエチレン袋 CO<sub>2</sub>排出量の比較 (算定中/概算イメージ)



社会  
市場

- 「二酸化炭素の排出量の大小」という指標が、今後消費者の商品選択時のものさしに
- 「プラスチック資源循環促進法」が2022年4月に施行
- 「カーボンプライシング」炭素に価格が設定され、今後「炭素税」の導入が検討されている
- 各国および日本で「2050年のCO<sub>2</sub>排出量0目標」が設定される
- 環境や社会に配慮した企業に投資が集まる